

社 会 (45分)

1 我が国と世界とのつながりに関して、①、②に答えなさい。

① 図1中の五つの都市A～Eについて、(ア)、(イ)に答えなさい。

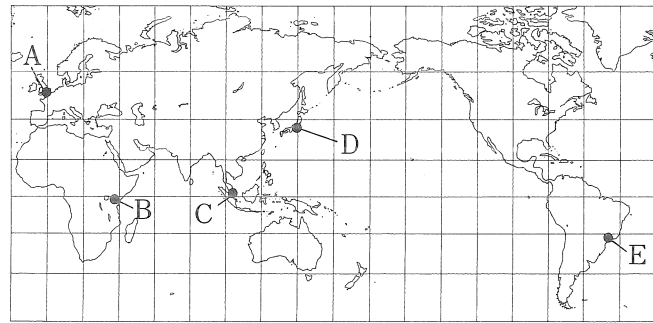


図1

(ア) 図1中のA～Eのうち、最も早く2013年1月1日午前0時を迎えるのはどれですか。一つ答えなさい。

(イ) 図1中のB～EとAとの間の実際の距離を調べるには、図2のような、Aからの距離が正しい地図を用いる方法がある。B～Eのうち、Aからの実際の距離がほぼ等しい都市が二つある。この二つの都市として最も適当なのは、(1)～(5)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (1) B, C (2) B, E (3) C, D (4) C, E (5) D, E

② 我が国の貿易について、(ア)～(ウ)に答えなさい。

(ア) 我が国の経済発展と貿易について書かれた右の文の [] に当てはまることばを書きなさい。

第二次世界大戦後の我が国の経済は、原材料を輸入し、工業製品を生産して輸出する [] 貿易によって発展した。

(イ) 我が国と他の国や地域との間の貨物の移動は海上輸送が中心であるが、航空輸送も増加している。最も航空輸送に適している品目は、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (1) 自動車 (2) IC (集積回路) (3) 鉄鉱石 (4) 小麦

(ウ) 右の図3は、我が国から中国に進出した製造業の企業数と、中国の製造業における平均賃金の変化を示しており、次の文章は図3についての疑問点とそれに対する考察をまとめたものである。文章中の [] に当てはまる内容を「製品」「市場」という二つの語を用いて書きなさい。

疑問点 賃金は8年間で3倍近く上昇している。生産にかかる費用が増えるので進出企業数は減ると思ったが、逆に増加している。なぜ進出企業数は減らないのか。

考察 賃金は上昇しているが、それでも日本に比べてまだ低い水準なので、安い費用で生産を行うことができる。
賃金の上昇により、中国の人々が消費支出にあてるお金が今後増えていくと予想できることから、我が国の企業は、中国が [] として今後も成長することを期待している。

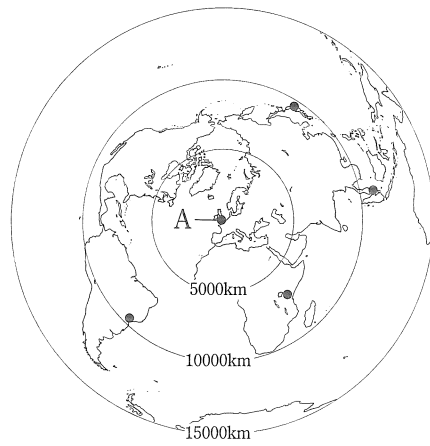


図2 Aを中心においた地図であり、●は、図1中のB～Eのいずれかを示している。

図2

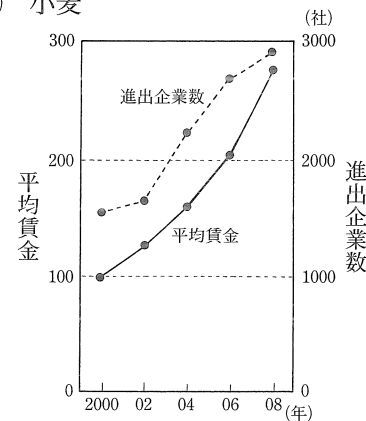


図3 平均賃金は2000年を100として、その後の推移を示している。
(経済産業省「海外事業活動基本調査」、ILO「LABORSTA Internet」から作成)

図3

2 中学生の慎二さんのクラスでは、社会科の授業で学んだいくつかの都市について、班ごとにまとめ、発表した。①～④に答えなさい。

① 次の図は、各班が都市の特徴を短くまとめて説明したカードである。(ア)、(イ)に答えなさい。

1班 かつて幕府がおかれ、北条氏により執権政治が行われた。その時代には新しい仏教の教えが広まった。

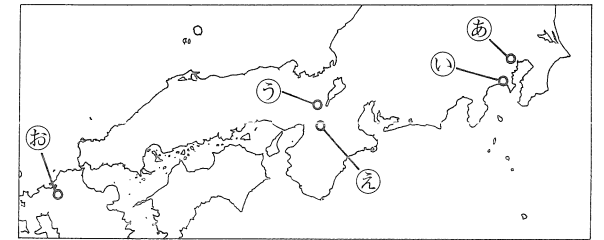
2班 かつて都がおかれ、仏教の影響が強く、国際色豊かな天平文化が開花した。東大寺には大仏が安置されている。

3班 かつて幕府がおかれ、将軍の住む城を中心とした城下町でもあった。幕府が滅亡した後、この地に首都が移された。

4班 かつて都がおかれ、その後も一時期を除き、長く都であった。摂関政治の舞台となり、貴族の文化が栄えた。

(ア) 4枚のカードを、その都市に初めて幕府または都がおかれた年代の古いものから順に並べる場合、2番目になるのは1班～4班のうちのどれですか。一つ答えなさい。

(イ) 1班がまとめた都市の位置は、次の地図の①～④のうちではどれですか。一つ答えなさい。



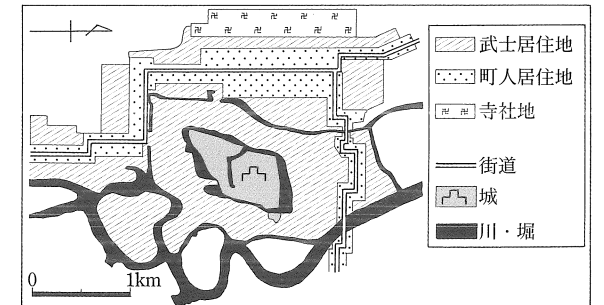
② 2班は、この都市が政治の中心であった時代の社会の様子について説明した。その内容として適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (1) 近畿地方などでは、米の裏作に麦をつくる二毛作が行われるようになった。
(2) 商工業者が株仲間という同業者集団をつくり、営業を独占するようになった。
(3) 朝廷が開墾をすすめる法令を出したため、貴族や寺社などが私有地を広げた。
(4) 貨幣の使用がすすみ、土倉や酒屋と呼ばれる人たちが貸金業を営んだ。

③ 3班は、この都市に幕府がおかれていた時代の社会の様子について説明した。(ア)、(イ)に答えなさい。

(ア) 右の図は、この時代に建設された、ある城下町の概略を示したものである。この図から読み取れることを説明した次の文章中の [] に当てはまることばを書きなさい。

城の周囲に武士居住地があり、その外側には街道に沿って町人居住地が見られる。さらに外側に武士居住地をはさんで寺社地がある。この様子から、居住する地域が武士、町人、僧侶といった [] によって区分されていることがわかる。



(イ) 3班は、この時代の後半には、文化の中心が上方から幕府のおかれた都市に移り、より多くの民衆に親しまれるようになったことを説明した。この文化を何といいいますか。

④ 4班の慎二さんは、「のちの時代に幕府がおかれたが、この都市で起きた大きな戦乱のあと、約100年におよぶ戦国時代になった。」と説明した。すると、他の班から「戦国時代の特徴的なできごとはありますか。」という質問を受けた。この質問に対する答えになるように、次の文章中の [] に当てはまる内容を、「守護大名」という語を用いて書きなさい。

山城(京都府)南部では []、自治を行った。このような動きは、他の地域で、一向宗(浄土真宗)を信仰する人々によっても起きている。

3 我が国の産業に関するできごとについてまとめた次の表を見て、①～⑥に答えなさい。

① 表中の〔a〕の時期に関する内容をまとめた次の文章中の〔X〕、〔Y〕に入ることばの組み合わせとして適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

我が国では、〔X〕が中心となって殖産興業が進められた。明治の中期以降には、〔Y〕業を中心とする軽工業で産業革命が進んだ。

- (1) 〔X〕：日本政府、〔Y〕：毛織物
- (2) 〔X〕：日本政府、〔Y〕：製糸・紡績
- (3) 〔X〕：イギリス政府、〔Y〕：毛織物
- (4) 〔X〕：イギリス政府、〔Y〕：製糸・紡績

② 傍線部(b)に関して、明治時代後半に足尾銅山から流出した鉱毒によって大きな被害が出た。この問題を追及し、解決を求めた代議士(衆議院議員)がいた。この人物名を書きなさい。

③ 下線部(c)のとき、イギリスなどは自国の植民地との間の経済的な関係を深めるとともに、それ以外の国からの輸入品を、高い関税をかけるなどの方法でしめ出した。このような経済(政策)を何といいますか。

④ 下線部(d)の時期について、右の図は、1931年～1945年における我が国の石油輸入量の推移を示したグラフである。この中で輸入量が最も大きく変化した時期の様子について説明した次の文章中の〔ア〕には当てはまることばを、〔イ〕には国名を書きなさい。

日本は日中戦争の長期化を打開し、石油などの資源を確保するために、〔ア〕した。これに対し、警戒心を強めた〔イ〕が日本に対して石油の輸出を禁止したため、輸入量は急激に落ち込んだ。

また、中国に関して日本と〔イ〕との間で続けられていた話し合いも行き詰まった。

⑤ 次の文章は、表中の〔Z〕に当てはまる政策を説明したものである。この政策を何といいますか。

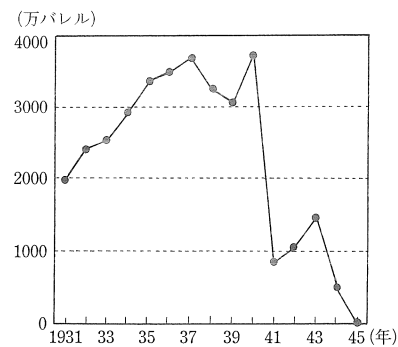
農村では地主の土地が買い上げられ、小作人(小作農)に安く売り渡された。これにより、地主・小作の関係が改められ、ほとんどの農民が自分の農地を持つようになった。

⑥ 下線部(e)の時期の我が国の産業や社会の説明として最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (1) 高度経済成長が始まると円高が急激に進行し、米と小麦の輸入が増大した。
- (2) 所得の増加とともに洗濯機などの家庭電化製品や自動車が普及した。
- (3) 大都市では公害によって生活環境が悪化し、農村への人口流出が進んだ。
- (4) 石油危機によって、30年以上続いた高度経済成長は終わった。

時代	我が国の産業に関するできごと
明治	〔a〕
大正	○八幡製鉄所の建設
昭和	○第一次世界大戦による好景気
和	○〔c〕世界恐慌がおこる ○〔d〕日中戦争、太平洋戦争 ○〔Z〕の実施 ○〔e〕高度経済成長と石油危機

(b) 公害や労働争議(問題)がおこる



〔注〕 石油には原油と石油製品を含む。
1バレル=約159L
〔数字でみる日本の100年〕
〔「日本戦争経済の崩壊」から作成〕

4 中学生の真菜さんのクラスでは、宮崎県を取り上げ、地域的な特色を調べることになった。①～④に答えなさい。

① 真菜さんは、以前実施した身近な地域の調査で、いくつかの調査方法を用いた。目的に対して方法が適当でないのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- (1) 市の産業別人口構成の変化を知るために、図書館に行き統計資料を調べる。
- (2) 市内にある介護施設の利用者数を知るために、電話帳で施設の件数を調べる。
- (3) 学校周辺の土地利用がどう変化したかを知るために、新旧の地形図を比較する。
- (4) 駅での乗降客が多い時間帯を知るために、駅員に聞き取り調査を行う。

② 真菜さんは地図帳を見て、宮崎県を自然環境を次のようにまとめた。(ア)～(ウ)に答えなさい。

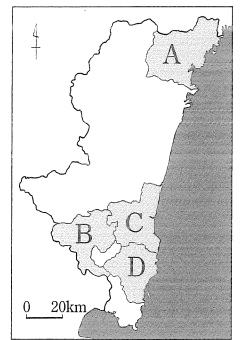
(ア) 下線部(a)の活動がさかんで、けわしい山々が続く造山帯のうち、日本列島が位置する造山帯を何といいますか。

宮崎県の中中部には平野が広がり、南西部には複数の〔a〕火山がある。宮崎県の沖合には〔b〕対馬海流と分かれた、暖流の〔c〕が流れている。

(イ) 下線部(b)が流れる水域は水産資源や海底資源が豊かである。領海の外側にあり、沿岸国に水産資源や海底資源の利用を認めた水域を、何といいますか。

(ウ) 文章中の〔d〕に入る海流名を書きなさい。

③ 真菜さんは、宮崎県内で人口の多いA～Dの四つの市の位置や広さを示した右の地図を作るとともに、四つの市についての統計資料を集めて次の表にまとめた。地図および表から読み取れる内容として適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。



	人口 (2010年) (人)	人口増加率 (*1) (%)	高齢化率(*2) (2010年) (%)	製造品出荷額 (2010年) (億円)
A市	133,616	-0.60	26.8	2,967
B市	171,506	-0.03	25.8	2,998
C市	400,901	0.22	21.0	1,992
D市	59,305	-0.89	30.7	753

〔注〕 *1: 2009年3月31日～2010年3月31日の増加率
*2: 総人口に占める65歳以上の高齢者の割合
〔「データで見る県勢 2011年版」, 宮崎県統計情報データベースから作成〕

- (1) 1km²あたりの人口が一番多いのはA市である。
- (2) 人口一人あたりの製造品出荷額が一番多いのはB市である。
- (3) C市は人口が増加しているが、年間増加数は1000人未満である。
- (4) 65歳以上の人口が最も多いのはD市である。

④ 真菜さんは、調べているうちに宮崎県で生産されたきゅうりが東京の市場にも出荷されていることを知った。そこで、東京都中央卸売市場におけるきゅうりの年間取扱量および月別取扱量の多い県を示した右の表を作成し、この表や授業で学んだ内容から宮崎県のきゅうり生産の特徴について考察した。その内容を記した次の文章中の〔ア〕、〔イ〕に当てはまることばを書きなさい。

きゅうり取扱量は、年間では東京に近い県からの入荷が多いが、冬は宮崎県産が最も多い。宮崎県では温暖な気候を生かした〔ア〕栽培がさかんである。この栽培方法だと〔イ〕ことができるため、東京に近い県との競合が避けられるという利点がある。

年間取扱量上位県

順位	県名	割合 (%)
1	埼玉	18.9
2	福島	13.8
3	群馬	12.3

月別取扱量上位県

月	1位	2位
1	宮崎	千葉
2	宮崎	千葉
3	群馬	埼玉
4	埼玉	群馬
5	埼玉	群馬
6	埼玉	群馬
7	福島	岩手
8	福島	岩手
9	福島	埼玉
10	埼玉	群馬
11	埼玉	群馬
12	宮崎	千葉

〔注〕 順位は取扱量(kg)による。
統計年次は2010年。
東京都中央卸売市場
Webページから作成

5 中学生の健太さんは、職場体験やその後の社会科の学習を通して、社会のさまざまなしくみや課題、解決の方法について学んだ。①～⑤に答えなさい。

① 健太さんは、社会科の授業で、日本国憲法に労働に関する規定があることを学習した。(ア)、(イ)に答えなさい。

第27条 すべて国民は、の権利を有し、義務を負ふ。
2 賃金、就業時間、休息その他の条件に関する基準は、法律でこれを定める。
3 児童は、これを酷使してはならない。

(ア) 右の文は日本国憲法の一部である。文中のに当てはまることばを書きなさい。

(イ) 働く機会や能力があり健康であるにもかかわらず、第27条に掲げる義務を果たさない人が増えると、どのような問題が生じるか。国の収入の面から簡潔に答えなさい。

② 職場体験中に、健太さんは発展途上国から研修に来ていた男性から、「私の国では、家計を助けるために、学校に行かずに働いている子どもがいるよ。」という話を聞いた。そこで職場体験の後に、児童労働について調べるうちに「ユニセフ」を知った。(ア)、(イ)に答えなさい。

ユニセフは、1989年に国際連合で採択された「条約」を規範とし、戦争や災害、貧困、あらゆる形態の暴力等の犠牲になっている子どもたちや、障害のある子どもたちが特別な保護を受けられるように努め、平等な権利が獲得できるように努めている。

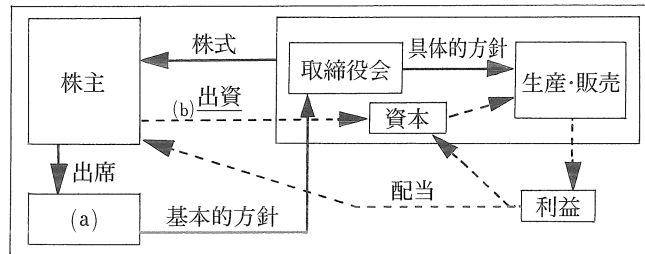
(ア) 健太さんが、ユニセフについて調べると、社会科の授業で学んだ、人権保障に関する条約とのつながりが強いことがわかった。ユニセフの使命についてまとめた右の文中のに当てはまることばを書きなさい。

(イ) 我が国も国際協力や援助に取り組んでおり、そのために、外国と条約を結ぶことがある。外国と結んだ条約の承認を行うのは、我が国では(1)～(4)のうちどれですか。一つ答えなさい。

- (1) 国会 (2) 最高裁判所 (3) 天皇 (4) 内閣

③ 健太さんは、職場体験を通して企業の生産活動に関心をもち、株式会社のしくみを示す次の図を作成した。(ア)、(イ)に答えなさい。

(ア) 株式会社の基本的方針は、株主が出席する、図中の (a) で決定される。 (a) に当てはまることばを書きなさい。



(イ) 下線部(b)は、証券会社や銀行などを通じて行われることが多い。証券会社や銀行などのように、資金に余裕のある人や企業と、資金を必要としている人や企業との仲立ちをするような機関を何といいますか。

④ 健太さんが職場体験をした工場では、始業前に社員が交代で近くの道路や公園の清掃活動を行っていた。健太さんが清掃活動に参加したときに、社員から次のような話を聞いた。(ア)、(イ)に答えなさい。

私たちの工場は、地域のみなさんの理解をいただきながら生産を行っています。だから、少しでも地域に貢献しようという思いから、社員の発案でこの活動が始められました。(a) 最初はいろいろな意見がありましたが、現在はみんなが協力しています。

企業には安全な商品の供給や、雇用の維持などの様々な責任がありますが、(b) 社会に対して支援や貢献することも求められていると思います。

(ア) 下線部(a)に関して、次の文章は、この話を聞いた健太さんが考えた内容である。あなたが健太さんになったつもりで、に当てはまる内容を書きなさい。

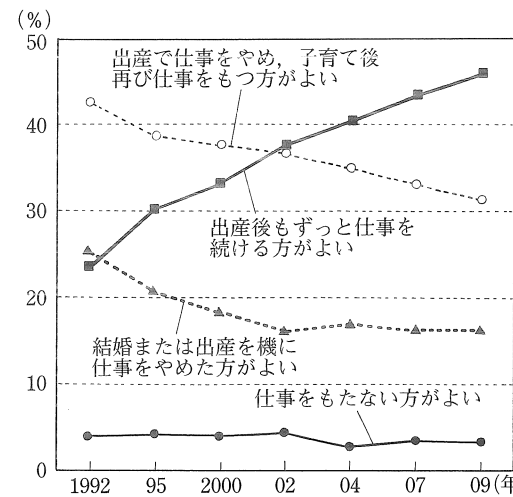
学校生活の中でも、生徒一人ひとり考え方が違うし、いろいろな意見もある。社会集団の中で、物事を決定するためには、意見を出し合い議論することを経て、みんながが必要だと思う。そうすれば、決定された内容に責任を持つことや、それを守らないことで起こる結果については自分が責任を負うことを意識できるのではないだろうか。

(イ) 下線部(b)に関して、社員の話にある内容以外で、「社会に対して支援や貢献をする」ことの例を一つ答えなさい。

⑤ 健太さんは、工場には正社員のほかに、パートタイムで働く女性従業員が多いと実感した。そこで、女性と仕事に関する問題を考えるための資料を集めた。(ア)、(イ)に答えなさい。

(ア) 次の図1は女性が仕事をもつことについての考え方を、図2は子どものいる世帯における母の就業状態を示したものである。図1、図2から読み取れる、あるいは考えられる内容として適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

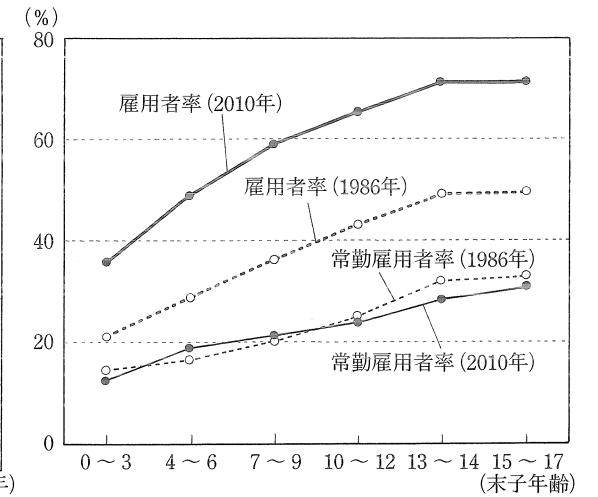
女性が仕事をもつことについての考え方



(注) 全国の20歳以上の男女を対象にした世論調査の結果を示している。(内閣府 Web ページから作成)

図1

子どものいる世帯における母の就業状態



(注) この調査では25歳～44歳を対象としている。末子年齢とは、一番下の子どもの年齢をいう。雇用者率は、調査対象者のうち家庭の外で働いて賃金を得る人の割合を、常勤雇用者率は、調査対象者のうち週35時間以上家庭の外で働いている人の割合をいう。(総務省「労働力調査(詳細調査)」から作成)

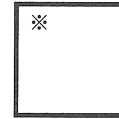
図2

- 図1から、出産後もずっと仕事を続けることが望ましいと考える人の割合は増える傾向にあり、2009年では全体の4割をこえていることが読み取れる。
 - 図1から、結婚や出産を機に仕事をやめることが望ましいと考える人の割合は、再就職する場合と、しない場合とを合わせると、1992年以降減少し続けていると読み取れる。
 - 図2において、1986年と2010年の「末子年齢が7～9歳の母」の雇用者率を比較すると、2010年は1986年に比べて、雇用者率が約3倍に上昇していることが読み取れる。
 - 図2において、2010年は1986年に比べて、グラフに示されたすべての末子年齢帯で、常勤雇用以外の働き方による雇用者の割合が高まったと考えられる。
- (イ) 図1に示されるように、固定的な性別役割分担意識は減少傾向にある。その中で、我が国がめざす社会に関する次の文中のに当てはまることばを、漢字四字で書きなさい。

男女の区別なくその個性と能力を十分に発揮するとともに、喜びも責任もともに分かち合う男女社会の実現をめざす取り組みが、社会全体に求められている。

受検 番号	(算用数字)	志願校	
----------	--------	-----	--

解答用紙



1

① (ア) ① (イ)

② (ア) ② (イ)

② (ウ)

2

① (ア) 班 ① (イ) ②

③ (ア) ③ (イ) 文化

④

3

① ② ③ 経済

④ (ア)

④ (イ)

⑤ ⑥

4

① ② (ア) 造山帯

② (イ) ② (ウ)

③ ④ (ア)

④ (イ)

5

① (ア)

① (イ)

② (ア) ② (イ)

③ (ア) ③ (イ)

④ (ア)

④ (イ)

⑤ (ア) ⑤ (イ)